

代表質問 (3)、議会 NEWS ①・②

西東京市議会公明党

フレイル予防、障がい者支援
防犯カメラ、体育館エアコン
数々の政策を前に進めます！

佐藤 公男
大田 伸之
田代 光昭
藤林 美智子
大田 美智子
小幡 勝己

【質問】 二元代表制の地方議会で、そもそも与党、野党は存在せず、今後も公明党は是非々々で臨む。市長は各党派とどのように向き合うのか。

【市長】 引き続き議会と緊張感の中にも信頼関係を築きながら、市の発展のため市民のための市政を進める。

【質問】 第2期文化芸術振興計画では、年齢・障害の有無、経済状況にかかわらず、等しく文化芸術が鑑賞できる環境整備や文化芸術教育の重要性がどのように反映されるのか。また、バラアートを引き続き推進すべきである。

【市長】 法の改正趣旨を踏まえ、文化芸術を通じた心身の健康、地域への愛着、共生社会の実現に取り組む。バラアートについては、制作ワークショップ展覧会を実施した。引き続き取り組みを進める。

【質問】 市民交流施設、文化施設のあり方は、施設の有効利用の観点から目的外使用ができるよう所管横断的に横串を刺して有効活用が進めば、文化芸術活動の練習場所等も著しく改善される。

【市長】 施設の低稼働や老朽化の課題、他の類似施設の有無や稼働状況を総合的に勘案しながら、あり方を取りまとめる。

【質問】 防災対策としてマン

ホールトイレの整備、避難所運営協議会の強化、防災ガイド&マップを暮らしの便利帳に集約する提案を行った。

【市長】 中小小及び(仮称)泉小跡地公園にマンホールトイレを整備する。避難所運営協議会への支援は、NPO等企画提案事業を活用し、市民団体と協働で地域防災力の向上や避難所運営体制の充実に努める。また、防災ガイドの情報は、暮らしの便利帳の内容を拡充し3月下旬に発行する。



2019-2020年度版暮らしの便利帳 防災マップ付き

【質問】 平成30年に防犯カメラ設置拡大を求めた5万人の署名を市長・都知事に提出し、都の助成が決定した。市長・教育長の見解を求めたい。

【教育長】 必要箇所の検討を行い、2020年度以降増設に向けて検討を進める。

【市長】 老朽化した公園の更新の際、見通しの悪い公園等に防犯カメラの設置を検討する。(仮称)泉小跡地公園には設置する予定。

【質問】 公明党の予算要望の

とおり、私道の舗装整備の予算が倍増された。私道整備の受益者負担のあり方を検討するのであれば、寄附要件も緩和すべきである。

【市長】 他自治体の取り組みを調査し、検討する。

【質問】 幼児教育無償化の国制度から外れる幼稚園類似施設は、市内に3施設ある。都議会公明党との連携により都独自の補助が決まったが、市として実施するのか、【市長】 都の制度を確認し、準備する。

【質問】 公明党は学校体育館へのエアコンの設置について、平成26年から要望を行ってきた。中学校が優先とのことだが、小学校でも、スポーツバズーカ等の超大型冷風機を検討するべきだ。【教育長】 各種調査の中でスポットエアコンを含めた機器も検討する。新ひばりが丘中にはクールピット方式を採用、中小小は建て替えの際にエアコンを設置。

【質問】 障害者福祉施設は今後さらなる拡充が必要であり、施設の配置バランスにも課題があるのではないかと。【市長】 放課後デイサービス、グループホーム等は拡充が進んだが、生活介護や就労継続支援事業等が不足している。配置についても市域中心に多く、今後は市全域のバランスを考慮した整備が課題。

【質問】 都市計画道路3・4

21号線開通に伴う小学校通学路の安全対策について、信号機の設置や交通擁護員の増員を求めた。

【教育長】 ひばりが丘駅北口の信号機設置を要望し、警察が現地調査を行う。交通擁護員の配置は調整する。

【意見】 調査の際には保護者・地域の方が立ち会えるよう求める。

【質問】 フレイル予防事業は、厚労大臣や公明党山口代表も視察するほど全国から注目されている。市内全域に広げ、地域や社会とつながる仕組みづくりが重要。

【市長】 健康や地域に無関心な方をどうつなげるかが課題。

【部長】 出前講座やミニ講座、自主運営の取り組み等、本市独自の取り組みでさらに推進していく。



フレイルサポーターによるミニ講座

【質問】 障がい者の地域支援事業はたびたび拡大してきた。これまで求めてきた移動支援の繰り越し範囲拡大の今後の対応はどうなっているのか。

【市長】 移動支援の繰り越し範囲の拡大は、外出支援により障がい者の社会参加の促進、生活範囲の拡大につながるため、制度改正の伴わない運用の中で準備する。

【質問】 医療機関の病床数や介護施設に限りがあるため、自宅での看取りを希望する方や家族への支援は、最重

要課題である。泉小跡地に2020年開設予定の高齢者福祉施設が看取り体制に果たす具体的役割を問う。

【市長】 必須事業は①24時間365日の緊急対応と定期的に自宅訪問する在宅療養支援診療所、②がんの終末期等、人生の最終段階において自宅のように過ごせる医療的ケア付きホームホスピスの整備を予定。市内における在宅での看取り体制整備の一翼を担ってもらう。

【質問】 抗がん剤治療や手術の影響で、脱毛等外見が著しく変化した場合、高額なウィッグや補正下着等が必要となる。人との交流や就労が続けられるよう、購入費の助成制度を求めたい。

【市長】 支援の内容や手法について、どのような支援が望ましいのか検証する。

【質問】 南町、柳沢周辺の交通不便地域を早期に解消せよ。タクシーを利用した実証実験が行われるが、田無駅北口での乗降や金額を安くできないか。

【市長】 田無駅北口への乗降場所の設置は難しい。できる限り駅周辺で乗降できるように市役所通りに設置した。料金はタクシー料金をもとに公費負担の状況を考慮し300円と設定した。実証実験の結果、持続可能な移動手段となるよう検討する。

【質問】 全ての新生児に聴覚検査を実施せよ。

【市長】 新生児の聞こえの問題に対し、早期養育を図ることで音声言語発達等への影響を抑えられる。新生児聴覚検査受診券を母子手帳と同時に交付し、生後50日までに実施する本検査の初回分のみ3千円を公費で負担する。

議会 NEWS ②

視察受け入れ状況を報告します

市議会では、当市の先進的、独自性のある各種事業について、毎年、全国の多くの地方議会議員の方々による行政視察を受け入れています。平成30年度は、下表のとおり合計9団体を受け入れました。

月日	都道府県	市区町村	視察目的
4月25日	東京都	日野市	寄附ベンチについて
5月9日	福井県	越前市	西東京放課後子どもカフェについて
6月1日	東京都	武蔵野市	本会議場の音響設備について
7月9日	兵庫県	宝塚市	フレイル予防について
7月24日	愛知県	半田市	ごみ減量に関する事業について
8月7日	三重県	鈴鹿市	フレイル予防について
8月15日	東京都	立川市	中学校給食について
2月7日	長崎県	諫早市	在宅療養介護連携支援について
2月7日	福井県	鯖江市	フレイル予防について

議会 NEWS ①

採択された陳情への市の対応

市議会では採択された請願・陳情については、市長や教育長に送付され、その後の検討経過を市議会に報告することとなっています。ここでは平成30年に採択された3件の請願・陳情のうち、結果等を請求することに決した1件について市からの報告をお知らせします。

件名	障害者の「移動支援」サービスの内容の改善に関する陳情
採択年月	平成30年12月5日
陳情事項	障害者への「移動支援」サービスの提供を行う事業者を増やし、同サービスを利用しやすくするために利用者の意見を反映させた運用ルールの改善を求めるもの。
検討結果	移動支援事業の利便性を高めるための具体的な取り組みについて検討してまいります。
理由	保健福祉審議会の答申を踏まえ、利用者の安全性を担保しつつ、従業員の確保を含めた移動支援事業の安定性及び継続性を向上させる取り組みを総合的に検討する必要があります。